

2023年4月12日

各位

上場会社名 株式会社 エヌ・ピー・シー
 代表者 代表取締役社長 伊藤 雅文
 (コード番号 6255)
 問合せ先責任者 専務取締役 廣澤 一夫
 (TEL 03-6240-1206)

第2四半期業績予想と実績値との差異並びに通期業績予想の修正に関するお知らせ

2022年10月12日に公表いたしました2023年8月期第2四半期累計期間の業績予想と、本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、最近の業績動向を踏まえ、2022年10月12日に公表した2023年8月期通期業績予想を、下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2023年8月期第2四半期累計期間の業績予想と実績値との差異

2023年8月期第2四半期(累計)連結業績予想数値と実績値との差異(2022年9月1日~2023年2月28日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	4,549	87	87	70	3.28
実績値(B)	4,241	224	230	182	8.48
増減額(B-A)	△ 308	137	143	112	-
増減率(%)	△ 6.8	157.5	164.4	160.0	-
(ご参考)前期第2四半期実績 (2022年8月期第2四半期)	1,592	1	21	△ 75	△3.51

2023年8月期第2四半期(累計)個別業績予想数値と実績値との差異(2022年9月1日~2023年2月28日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	4,505	71	71	59	2.77
実績値(B)	4,219	197	196	154	7.21
増減額(B-A)	△ 286	126	125	95	-
増減率(%)	△ 6.3	177.5	176.1	161.0	-
(ご参考)前期第2四半期実績 (2022年8月期第2四半期)	1,556	△ 10	11	△85	△3.97

業績予想と実績値との差異の理由

国内電子部品業界向けFA装置の一部案件で、売上計上時期が下期となったため、売上高が期初の予想を下回りました。利益面では仕入コストの低減、製造工程と現地作業での原価低減、また部品の売り上げが増加したことで利益率が向上しました。また、販売費及び一般管理費で主に研究開発費、支払手数料、減価償却費が減少

したことから、営業利益、経常利益、四半期純利益が増加しました。

なお、連結業績及び個別業績とも同一の理由によるものであります。

2. 通期業績予想の修正

2023年8月期通期連結業績予想数値の修正（2022年9月1日～2023年8月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	9,034	342	342	283	13.17
今回修正予想(B)	9,125	658	664	533	24.81
増減額(B-A)	91	316	322	250	-
増減率(%)	1.0	92.4	94.2	88.3	-
(ご参考)前期実績 (2022年8月期)	4,379	620	617	379	17.60

2023年8月期通期個別業績予想数値の修正（2022年9月1日～2023年8月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	8,977	324	324	271	12.59
今回修正予想(B)	9,059	641	640	520	24.20
増減額(B-A)	82	317	316	249	-
増減率(%)	0.9	97.8	97.5	91.9	-
(ご参考)前期実績 (2022年8月期)	4,277	626	643	397	18.45

修正の理由

米国主要顧客の新工場向け装置、国内電子部品業界向けFA装置を予定通り売上計上見込みであるほか、下期においても部品の売上が好調を維持する予定であり、売上増となる見込みです。利益面では、租税公課や旅費交通費の増加により販売費及び一般管理費が増加するものの、主要案件での原価低減、部品の売上増加により売上総利益率が向上し、期初予想を大幅に上回る見込みです。

なお、連結業績及び個別業績とも同一の理由によるものであります。

(注) 上記予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成しております。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上